



会 期 / 平成27年11月1日(日)～11月19日(木)

会 場 / 日本工業大学工業技術博物館 2階展示場

入場料 / 無 料

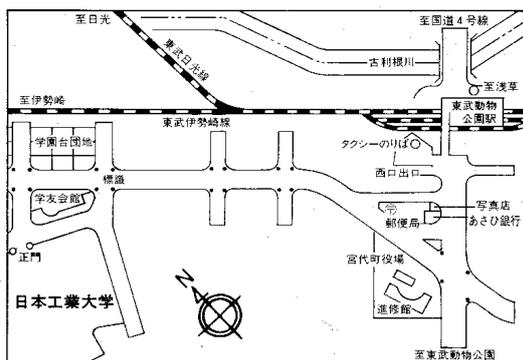
開催のご挨拶

軸受は、機械を構成する基本的な部品の一つであり、「ころ」を利用したころがり軸受の出現は、現存する最古のものは、ローマ近郊で発見された50年ごろ建造された船の回転円形床を支えるスラスト軸受です。それらは、青銅製の「ころ」、テーパ形状の「ころ」が木溝の中を転がるものでありました。後に、15世紀頃にレオナルド・ダ・ヴィンチもころがり軸受のアイデアをスケッチしていますが、機械に用いられたのは、18世紀の産業革命以降で、機械の性能向上が強く要請されるようになってからです。

その後、各国で専門メーカーによるころがり軸受の大量生産が行われるようになり、同時に規格化も進み、現代のころがり軸受が開発されました。ころがり軸受は、大量生産に適しており、各種工業技術の発達とともに大規模産業として発達し、現在、ころがり軸受産業は各国の機械技術を支える基板産業となっています。そこで、本特別展では、古代の技術者により考案され、継承され進化され続けている軸受やその関連技術を紹介することにより、機械技術の創造と原点を研鑽し、機械の「滑らかさ」「美しさ」をも感じてもらうことを目的とします。

会場のご案内

- 開催時間 午前9時30分～午後4時30分
入館は午後4時までをお願いいたします。
- おねがい 小中学生は責任者ご同伴のうえご来館ください。
- 交 通 当館は、東武伊勢崎線の東武動物公園駅下車、約1300mの位置にあります。
- 問合せ先 日本工業大学 工業技術博物館 Tel. 0480-34-4111 (大学代表)



主催 / 日本工業大学工業技術博物館
協賛 / 日本工業大学工業技術博物館後援会
協力 / 日本精工株式会社

特別講演会のご案内

- 演題① / 工作機械主軸用軸受の
技術開発動向
講師① / 日本精工株式会社 産業機械軸
受技術センター 青木 満穂 氏
- 演題② / ボールねじ送り機構の
高速・高精度化技術
講師② / 日本精工株式会社 直動技術
センター 所長 宮口和男 氏

日時 / 平成24年11月11日(水)午後4:40
場所 / 日本工業大学 学友会館 ホール

主な展示品

- 古代から機械に活用されてきた軸受
- レオナルド・ダ・ヴィンチが考案した軸受のスケッチ
- 現代の各種ころがり軸受
- ころがり軸受を活用した各種機械技術と製品
- ころがり軸受とすべり軸受を採用した製品
自動車用過給機など

体験コーナー

- ラジアル軸受とスラスト軸受における「ころ」と「メタル」の体験比較

展示品の紹介



FF 6速トランスミッション(アイシンAW製)
(日本精工株式会社 所蔵)

皆様のご来館を心よりお待ちしております